

都市再生整備計画 事後評価シート
臨空地区

平成28年3月

石川県輪島市

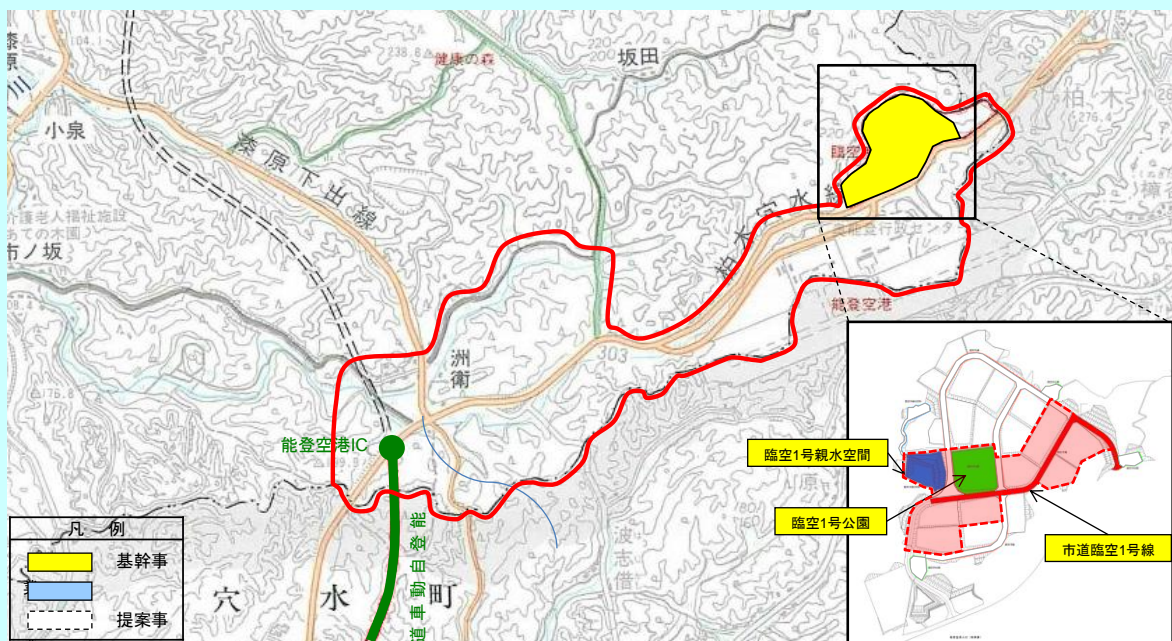
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県		市町村名	輪島市		地区名	臨空地区		面積	430			
交付期間	H24～H27		事後評価実施時期	H27		交付対象事業費	171	国費率	40%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(臨空1号線、2号線、3号線)、公園(臨空1号公園、2号公園、3号公園、4号公園)、高質空間形成施設(臨空1号親水空間、2号親水空間)、高次都市施設(観光交流センター)										
		提案事業											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(臨空2号線、3号線)、公園(市道臨空2号公園3号公園) 高質空間形成施設(臨空2号親水空間)、高次都市施設(観光交流センター)	削除/追加の理由 高次都市施設については他事業で実施する方針となったため、その他の事業については目標の達成に見通しがあったため削除した。				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 まちづくりの目標達成に関して影響はなく目標も指標も据え置く。					
		提案事業	-	-				-					
	新たに追加した事業	基幹事業	-	-				-					
		提案事業	-	-				-					
	交付期間の変更	当初	H24～H27		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
	変更	-		-		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
		単位	基準年度	目標年度		モニタリング	評価値						
	指標1	能登空港の搭乗率	%/年	55.8	H22	62.0	H27	63.2	63.6	○	あり なし	目標値を上回ることが出来た。社会資本整備総合整備計画の輪島中央地区や効果促進事業による取り組みとの相乗効果が発現されたと考えられる。	-
	指標2	地区内のイベント開催回数	回/年	10	H22	12	H27	15	23	○	あり なし	目標値を上回ることが出来た。社会資本整備総合整備計画の輪島中央地区や効果促進事業による取り組みとの相乗効果が発現されたと考えられる。	-
指標3	臨空産業団地の進出企業数	社	3	H22	5	H27	4	5	○	あり なし	目標値を上回ることが出来た。オーダーメイド方式からインフラ整備や環境整備を先行して売却する方針への転換が要員であると考えられる。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
		単位	基準年度	目標年度		モニタリング	評価値						
その他の数値指標													
4)定性的な効果発現状況	指標1、指標2については他事業との相乗効果により、指標3については本事業により整備した道路等により目標を達成できたと考えられる。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	指標にかかる数値の把握		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も同様に把握していく予定。					
	住民参加プロセス	実施を予定していた観光交流センターについて他事業により整備することとなったため本事業での住民参加は実施できなかった。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 市内における施設整備の際は住民が参加し意見を取り入れる仕組みを心がけており、今後もこの方針に変わりない。					
	持続的なまちづくり体制の構築	進出企業が中心となり臨空産業団地の活性化に関する懇談会等を実施した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地区内の活性化に向けた取り組みを継続して実施する予定。					

様式2-2 地区の概要

臨空地区(石川県輪島市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 活力あるまちづくりをめざして	能登空港の搭乗率	単位: %/年	55.8	H22	62.0	H27	63.6	H27
目標1 交流の促進による活力の創出	地区内のイベント開催回数	単位: 回/年	10	H22	12	H27	23	H27
目標2 産業の振興による活力の創出	臨空産業団地の進出企業数	単位: 社	3	H22	5	H27	5	H27



地方道(整備前)



地方道(整備後)



まちの課題の変化

能登空港の利活用促進による観光産業の振興や交流人口の拡大については社会資本整備総合整備事業の輪島中央地区や効果促進事との相乗効果により良好に推移しており、能越自動車道能登空港ICから輪島区間が供用した後も通過点とならないような魅力の向上を図ることができたと考えられる。
臨空産業団地においても社会資本整備を先行したことにより進出企業数が目標を達成しており、今後のさらなる進出が期待できる。

今後のまちづくりの方策
(改善策を含む)

能登空港の利活用については、本地区のみならず市全域において地域の魅力を向上するための取り組みを継続する必要がある、各種の事業によりハード、ソフト両面における展開を図るとともに市民が積極的に参加することが出来る環境を整える必要がある。
臨空産業団地については進出企業の事業展開を支援するとともに、さらなる進出を促進するためこれまで同様企業誘致への取り組みを継続する必要がある。